

—＜特別陳列＞—

法徳寺の 仏像

—近代を旅した仏たち—

The Buddhist Icons of
Hōtoku-ji Temple
A Tale of the Journey of
Buddhist Divinities
through Modernity

ここで、
またともに祈ろう。

2019
7.13 [土] » 9.8 [日]

- 主催 奈良国立博物館、法徳寺
- 協力 仏教美術協会
- 休館日 毎週月曜日、7月16日(火) ただし、7月15日、8月5日、12日は開館
- 開館時間 午前9時30分～午後6時
- ※ただし、金・土曜日は午後8時まで、8月5日(月)～8日(木)、11日(日・祝)～15日(木)は午後7時まで、8月9日(金)、10日(土)は午後9時まで。
- 観覧料金 一般 520円 / 大学生 260円 (団体料金 (20名以上) 一般 410円 / 大学生 210円)



奈良国立博物館
Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町50(奈良公園内)

ハローダイヤル 050-5542-8600

交通案内 近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から
市内循環バス(外回り)「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

<https://www.narahaku.go.jp/>



文殊菩薩坐像(部分) 鎌倉時代(13世紀)

特別陳列

法徳寺の仏像

—近代を旅した仏たち—

法徳寺は、奈良市十輪院町に位置する融通念仏宗の寺院です。本尊は平安時代後期にさかのぼる阿弥陀如来立像ですが、本展で注目するのは近年この寺に寄進された約30軀の仏像群です。これら諸像は、かつてひとりの実業家が蒐集した仏像であったことが知られます。その実業家は奈良の古美術商と親交があったため、法徳寺仏像群には南都伝来の作品が少なくなく、興福寺に伝来したいわゆる興福寺千体仏が20軀も含まれています。また法徳寺仏像群のうち地蔵菩薩立像は、明治39年(1906)に興福寺の境内で撮影された仏像写真(同寺蔵)の中にその姿を見出し、興福寺伝来であることが確認できます。さらに文殊菩薩坐像が鎌倉時代以降、南都を中心に広まりをみせたいわゆる五髻文殊の優品であることも見逃せません。

法徳寺仏像群は、個性豊かな像を多く含みますが、各像の基礎的な情報はもとより、その存在自体もほとんど知られていない、南都ゆかりの知られざる仏たちです。本展では、これら諸像を広く紹介するとともに、X線CTスキャン調査をはじめとした最新の調査成果もふまえて、その魅力に迫ります。



地蔵菩薩立像
平安時代(11世紀)



文殊菩薩坐像
鎌倉時代(13世紀)

The Buddhist Icons of Hōtoku-ji Temple : A Tale of the Journey of Buddhist Divinities through Modernity



観音菩薩立像 飛鳥時代(7世紀)



菩薩立像(興福寺千体仏) 平安時代(12世紀)



○観覧料金	一般	大学生
個人	520円	260円
団体	410円	210円

※高校生以下及び18歳未満の方、満70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。団体は20名以上です。
※高校生以下のお子様と一緒に観覧される方は、一般410円、大学生210円です。

※この観覧料金で、同時開催のわくわくびじゅつギャラリー「いのりの世界のどうぶつえん」及び名品展「珠玉の仏教美術」「珠玉の仏たち」「中国古代青銅器」をあわせてご覧になれます。

公開講座

8月24日(土)

「近代を旅した仏たち—奈良ゆかりの仏像を中心に—」

講師/山口隆介(奈良国立博物館学芸部主任研究員)

公開講座は午後1時30分から3時まで(開場は午後1時)。当館講堂にて。定員194名(先着順)。聴講無料(12時より講堂にて、入場整理券(お1人様につき1枚)を配布します。入場整理券の受取の際には、本展の観覧券もしくはその半券、奈良博プレミアムカード等をご提示ください。入場受付は講座開始後30分で終了します。



交通案内/近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から市内循環バス(外回り)「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

奈良国立博物館
Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町50(奈良公園内)
ハローダイヤル 050-5542-8600
<https://www.narahaku.go.jp/>



持国天立像・増長天立像 鎌倉時代(13世紀)

